

世界で最も深く、古い湖である
バイカル湖の文化。
神の使い“蒼き狼”たちの歌声が響く――。

世界音楽の祭典 IN 浜松 2016 民族音楽コンサート
(楽器博物館企画)

ブリヤート共和国・バイカル湖の歌姫

ナムガル

NAMGAR

東シベリア・バイカル湖南東に位置する神秘の国ブリヤート共和国は、ロシア、トゥバ、中国、モンゴルなどの要素が混じり合った独特の文化を持っています。NYタイムズが「シベリアのビョーク」と絶賛する民謡歌手ナムガルは、その伝統音楽をベースにロック的アレンジを加えたサウンドで、欧米において絶大なる人気を誇ります。ナムガルとはチベット語で「白い雲」の意味。大草原ステップを渡る風のように、朗々と天高く舞い上がる歌を堪能していただきたいと思います。民俗楽器のヤタガ、口琴、チャンザ、イギルも登場します。

出演:ナムガル・ルハサラノワ(ヴォーカル、ヤタガ、口琴)
エフゲニー・ゾロタリョーフ(チャンザ、ベース、コーラス)
ティムール・ゾロタリョーフ(ギター、コーラス)
等々力政彦(イギル、喉歌)
堀越彰(ドラムス)

ナビゲーター:嶋和彦(浜松市楽器博物館館長)

2016. 11/4 (金) 開場 6:30pm
開演 7:00pm

アクトシティ浜松
音楽工房ホール

チケット
好評
発売中

自由席: 一般 1,000円
学生 500円
(24歳以下の学生)

Pコード: 306-314

■チケットは、アクトシティチケットセンター、浜松市文化振興財団
オンラインショップ(<http://www.hcf.or.jp/shop/index.html>)
チケットぴあにて発売

ナムガル・ルハサラノワ Namgar Lkhasaranova

ブリヤート共和国出身、グネーシン音楽アカデミーのジャズ・現代音楽科卒業。遊牧民であるブリヤート族に古来から伝わる歌や踊りの再現。またバイカル湖を中心とした太陽、月、水、風、雲、馬という自然神を崇めるシャーマンの歌を再発掘し新たなリズムを加えての再現で、ロシアは勿論、フランス、オランダ、デンマーク、ドイツ、カナダ、アメリカやマレーシアなどで一世を風靡する。ブリヤート共和国功労芸術家、アギンスキー自治州功労文化人ロシア=ノルウェー文化財団「北方の世界」のアートディレクター。

エフゲニー・ゾロタリョーフ
Eugenii Zolotarev

ブリヤート共和国ウラン・ウデ市出身。祖先はロシア帝国時代にシベリアへ送られたポーランド系の貴族。国立東シベリア文化大学卒業。元来はウラン・ウデのバンド「SELENGA」でベースとして活躍。そしてナムガルがSELENGAにヴォーカルとして参加したことにより、ピートのさいたワールドミュージック系バンド「NAMGAR」を結成。ロシア国内外で活躍。蛇の皮を使った三弦楽器のチャンザの名手。

等々力 政彦
Masahiko Todoriki

南シベリアのトゥバ民族音楽演奏家。10年以上にわたり南シベリアで喉歌(フーメイ)などのトゥバ民族の伝統音楽を調査しながら演奏活動を行う。あがた森魚、朝崎郁恵、安東ウメ子、EPO、OKI、岸高コウロー、古謝美佐子、大工善弘、フンフルトなど内外のミュージシャンと共演、及びアルバム参加。喉歌伝承(モンゴル民族音楽)とのユニット「タルバガン」でも活動。

ティムール・ゾロタリョーフ
Timur Zolotarev

1992年にモンゴルとの国境沿いにあるブリヤートの小さなステップの村で生まれた。母ナムガル、父エフゲニーでブリヤートとロシア、ポーランド人の血が混ざっている。モスクワの大学を卒業後、ミュージシャンへの転身を決意。幼い頃から音楽が好きで、ブリヤートの民族音楽を聴きながら育った。2011年からグループ「ナムガル」のギタリストとして活躍。数少ない若手ブリヤート人のワールドミュージックの期待の新星。

堀越 彰
Akira Horikoshi

1990年山下洋輔ニュートリオでプロデビュー。ジャズドラムを基盤にしながらも邦楽や尺八、笛など日本の伝統楽器と組んだ「東方異聞」、ピアノ深町純、バイオリン渡辺明と組んだ「3人にして無限大のオーケストラ」「The WILL」、音楽と美術の境界を越えた「SOLO-ist」、尺八小唄名人と組んだ「LOTUS POSITION」等を主宰。

主催:ユネスコ音楽都市はままつ推進事業実行委員会/浜松市 企画:浜松市楽器博物館 公益財団法人浜松市文化振興財団 協賛:株式会社河合楽器製作所 ヤマハ株式会社 ローランド株式会社

【お問合せ】